

暫定版

※現在検討している案であり、今後の調整により
内容を変更することがあります。

北海道旅行需要平準化企画

『北海道ドライブ観光パス社会実験』

社会実験にご協力ください

2016年1月

北海道局・北海道開発局

- ◎地域間・季節間の旅行需要の平準化のため、様々な特典をまとめたパスの創設により外国人ドライブ客を**地方部へ誘導**する**社会実験**を行います。
- ◎実験成功の**カギは、観光施設の御協力と海外への情報発信**です。

パスによる地方部への誘導イメージ

地方の観光施設の特典をまとめたパスを創設

海外に向けて情報発信



H28社会実験の概要(案)

- <対象者>
レンタカーで道内をドライブ観光する外国人旅行者
- <対象地域>
上川、十勝、釧路根室、オホーツク地方
★H27.6に国土交通大臣認定を受けた広域観光周遊ルート形成計画の対象地域と同じ。
- <スケジュール>
H28.2 参加施設の公募
H28.4 実験内容の確定
H28.5 予備広報開始
H28.7 広報開始
H28.10~11 社会実験(P)
H29.3 結果とりまとめ
- <パス価格>
無料
- ◎H29は、対象地域・期間を拡大して実施予定。

※現在検討している案であり、今後の調整により内容を変更することがあります。

※現在検討している案であり、今後の調整により内容を変更することがあります。

旅行前



パスの情報はPCでも確認可能(日・英)
★施設の詳細情報は各施設のHPへリンク



①出国前にパスを申し込み、アプリをダウンロード

旅行中



②レンタカー店舗で設定ガイドを受け取り、そこに記載されているパスワードを入力してアプリを有効化



★パスの有効期間は14日間(一律)



③パス特典施設で、その施設のアプリのページを店員に提示し、確認を受けて(特典利用ボタンを押す)、特典の提供を受ける。



★特典利用は、1施設1回限り

ココのボタンを押してもらおう

携帯アプリの画面イメージ

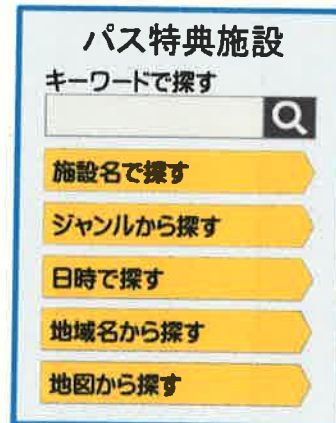
※実際の画面とは異なります。

【トップページ】

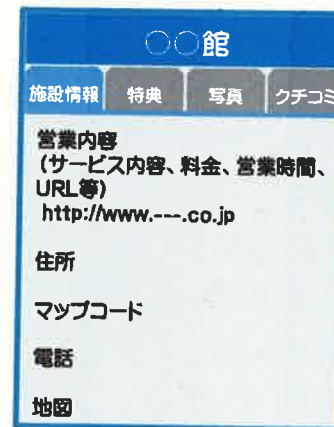


【設定】 使用言語、利用者情報等
【特典】 パスの特典(施設検索)
【観光情報】 観光案内所、観光名所、モデルルート等
【ドライブガイド】 交通規則、冬道ガイド、ETC、ガソリンスタンド等
【道路情報】 峠の画像、通行規制、時間距離検索等
【気象情報】 天気予報
【緊急時ガイド】 事故や急病時の対応、災害時避難場所等
【便利】 音声翻訳、会話集、通貨変換等(既存アプリへ接続)
【アンケート】 社会実験アンケート

【特典】



【パス特典施設】



サポートセンター

トラブルなどに迅速に対応できるよう社会実験期間中、一元的な対応窓口を設置(対応時間は昼間のみ)。

- ・電話は二か国語対応
⇒日・英
- ・メールは多言語対応
⇒日・英・繁・韓・タイ(P)



- ◎ **本事業の趣旨に賛同すること。**
- ◎ **積極的に外国人旅行者を受け入れ、**歓迎**すること。**
- ◎ **WiFi環境**が整備されていて、外国人旅行者が利用できることが望ましい。
- ◎ **高いレベルの特典**を提供すること。

(P)

※社会実験実施主体が不相当と判断する施設は参加をお断りする場合があります。また、応募が多くなった場合、参加をお断りする場合があります。

◆各施設でご提供いただく特典について

本事業は、外国人旅行者があまり訪れていない地域へ、旅行シーズンとずらした季節に、外国人旅行者を誘導するための社会実験です。外国人旅行者が旅行計画を変更する気になるくらいの高い特典の提供をお願いします。
高いレベルの特典で足並みを揃えることにより、類似の取組との差別化を図ります。

特典のイメージ

地域の特産品、1個無料



施設利用料、1人無料



無料 残りの3人は有料

2品以上注文した場合
メイン1品無料



メイン1品(安い方)以外の飲食は有料

体験ツアー参加費、
大人に子供料金適用



大人料金 5,000円
→子供料金 3,000円(40%割引)

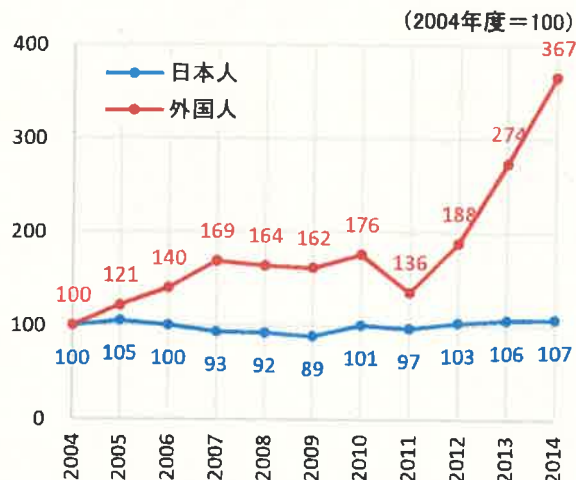
買い物代金の25%オフ
(ただし、最大2000円)



- ◎**無料で、海外に情報発信**できます。
- ◎**工夫次第で、割引をしても、来客が増えることで収益UP**も可能です。
- ◎**日本人客の少ない日・時間帯**に外国人客を呼び込むこともできます。
- ◎**クチコミ**により、集客効果が長くつづくことが期待できます。

北海道を訪れる外国人観光客は過去10年間で**3.7倍**に増加

道内宿泊客数の推移



北海道観光入込客数調査報告書を基に作成

外国人の観光消費額単価は平均で道内客の**6.0倍** 道外客の**1.8倍**

2014年度 観光消費額単価

(単位:円)

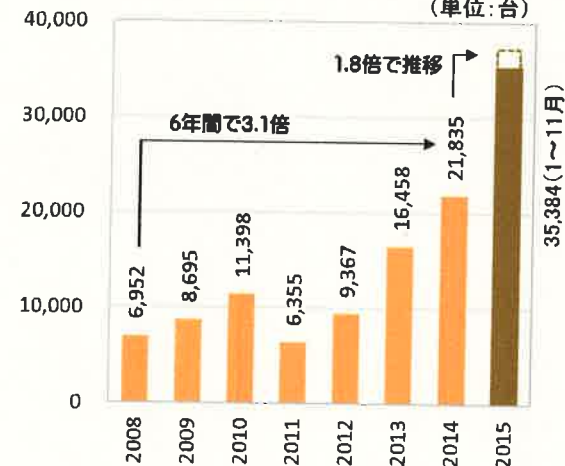
	道内客	道外客	外国人
第1四半期	21,938	75,431	121,243
第2四半期	25,307	84,474	128,234
第3四半期	22,797	67,436	149,013
第4四半期	21,770	75,957	150,761

出展:北海道観光入込客数調査報告書

外国人のレンタカー利用は急増 2015年は対前年**1.8倍**で推移

外国人へのレンタカー貸渡台数

(単位:台)



北海道地区レンタカー協会調べ

観光関係ウェブサイトへの掲載

(例) JNTO、北海道観光振興機構、観光協会、・・・



JNTOウェブサイト

在外公館でのチラシ配布

・大使館窓口での設置
・大使館行事での配布



ジャパン・フェス(イメージ)

在京大使館への情報提供

大使館員、日本在留外国人に情報提供することで、家族や友人・知人等の旅行を促す。

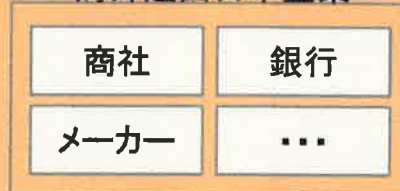


(例) 英国大使館

海外進出日本企業への周知

海外に進出している日本企業に周知し、企業内の職員等に情報提供していただく。

海外進出日本企業



旅行博でのPR

海外で開催される旅行博において、来訪者(旅行会社の関係者を含む)にチラシを配布する。



帰国する外国人への情報提供

ドライブ観光後、レンタカーを返却する外国人にチラシを配布し、帰国後に友人にクチコミしていただく。



ブロガー等からの情報発信

開発局、運輸局、道庁などで付き合いのある海外の有名ブロガー等に情報提供し、フォロアーに向けて情報発信していただく。



姉妹都市等への情報発信

市町村からそれぞれの姉妹都市宛てに情報発信する。また、各市町村に在住している外国人に情報提供する。

(例)

- ・ 釧路市→バーナビー市(カナダ)
- ・ 厚岸町→クラレンス市(豪州)
- ・ 根室市→セトカ市(米国)
- ・ 別海町→ザッサブルク市(ドイツ)
- ・ 美幌町→ケンブリッジ市(NZ)
- ・ 遠軽町→モアラン・アン・モンターニュ町(フランス)

このほか、航空会社や海外の旅行メディア、旅行会社への情報発信についても実施する予定。

◎ **ウェブサイト**と**携帯アプリ**に、パス特典施設を掲載します(英語)。

◎ **SNS**を使って、利用者がパス特典施設の**クチコミ**情報を発信します。



各施設のウェブサイト



パスのウェブサイト、携帯アプリではパス特典施設の概要を掲載します。

※英語での記載内容は、社会実験実施主体で案を作成し、各施設関係者の確認を取ります。

詳細情報は、各施設のウェブサイトで確認するようにリンクを貼ります。

各施設において、ウェブサイトを外国語対応することをお勧めします。

あなたの施設のクチコミが世界に発信されます！



クチコミを見た外国人があなたの施設にやってくる？

外国人旅行者の満足度が低いと、悪いクチコミを発信されることもあるのでご注意ください。

北海道局

◎参事官室 政策班 03-5253-8772 (直通)

(担当) 山本 yamamoto-s2fa@mlit.go.jp

真鍋 manabe-t2ja@mlit.go.jp

大塚 ootsuka-s22ab@mlit.go.jp

北海道開発局

◎開発監理部 開発連携推進課 011-709-2024 (直通)

(担当) 本田 honda-h2sb@hkd.mlit.go.jp

笹野 sasano-y52tn@hkd.mlit.go.jp

現状と課題

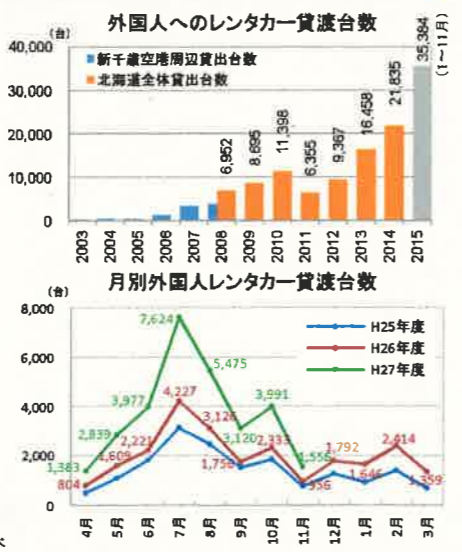
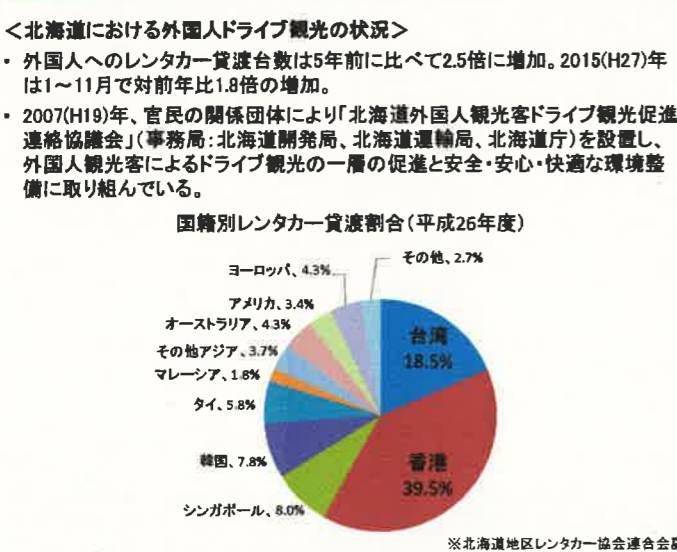
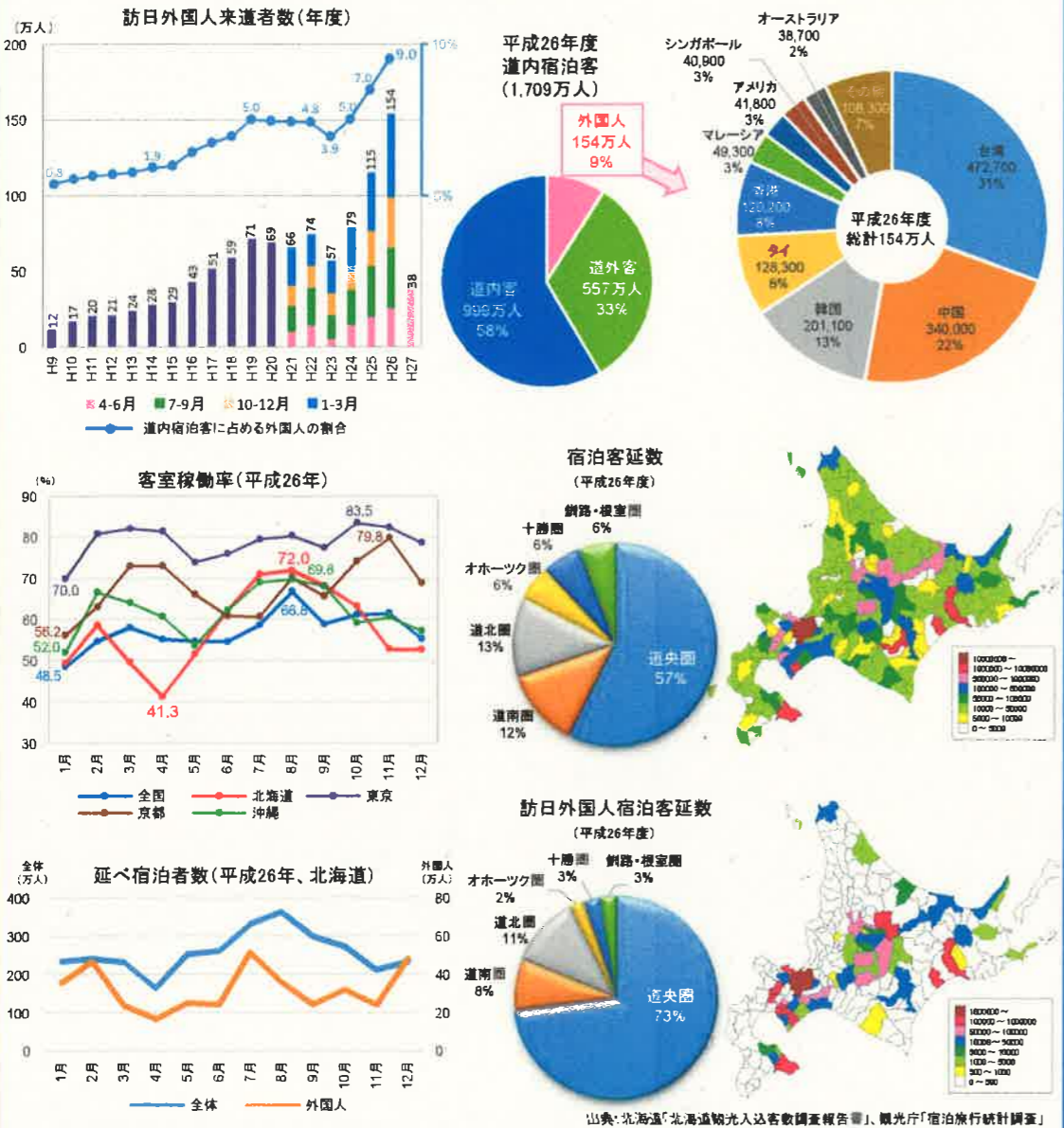
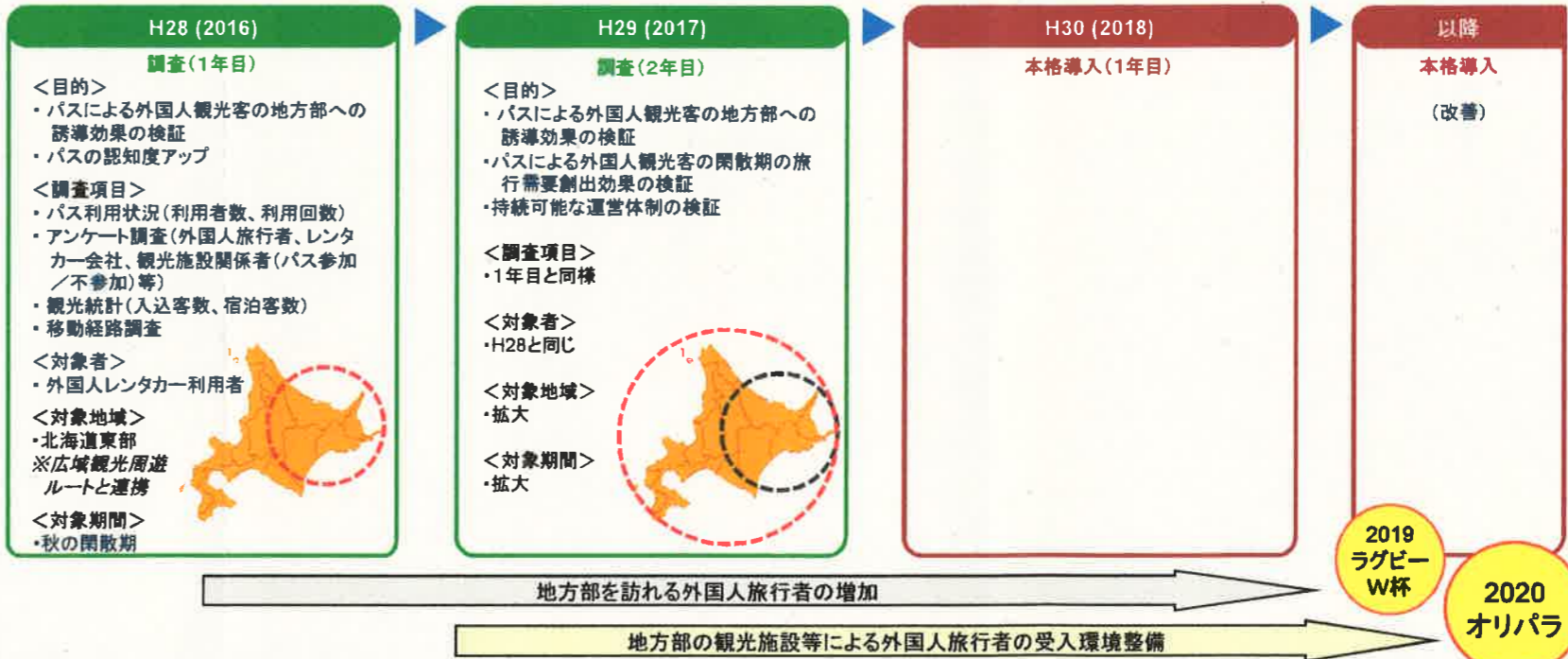
- 北海道は訪日外国人旅行者の約1割が訪れており、国の観光立国の目標達成のために北海道の果たす役割は大きい(訪日外国人旅行者数:2020年に2000万人、2030年に3000万人)。
- 外国人来道者の宿泊地は道央圏に集中しており、インバウンド観光の経済効果を地方に波及させていくことが重要。また、季節間の旅行需要の変動が大きく、観光産業の振興の妨げとなっている。
- インバウンド観光の更なる振興にはリピーターを呼び込むことも重要であり、道央圏以外の観光地の魅力を情報発信することが必要。

旅行需要の平準化

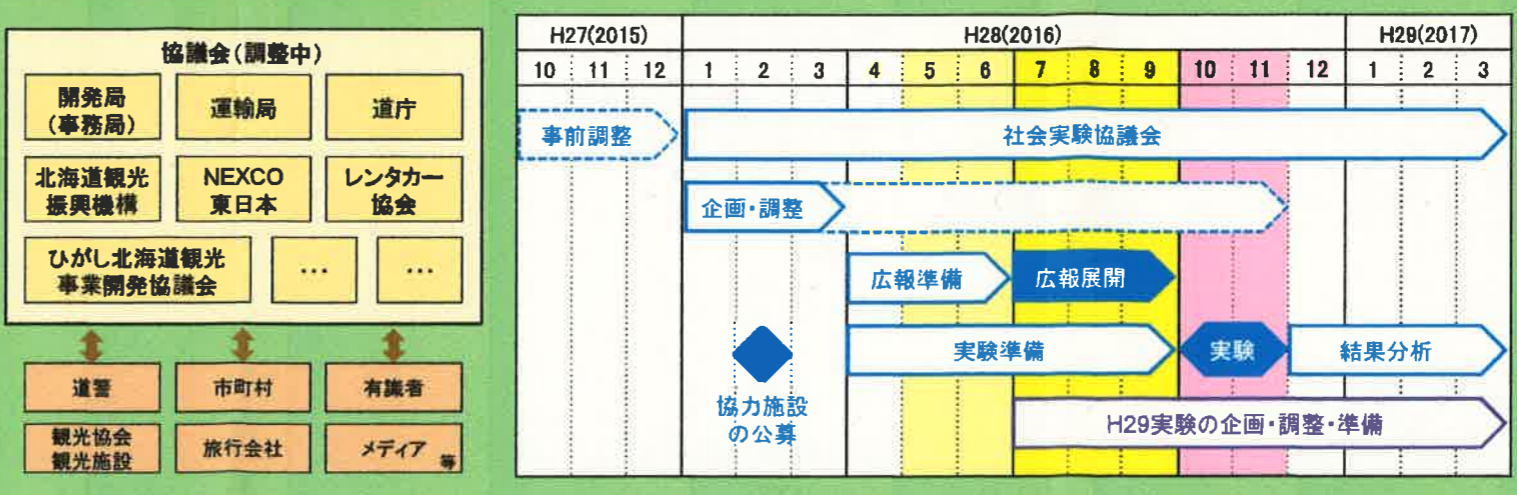
- 地域間・季節間の旅行需要の偏りを緩和させるため、地域単位での閑散期の観光資源の掘り起こしと観光客を地方部へ誘導する仕組みづくりと同時に取り組むことが重要。
- この一環として、近年増加しているレンタカーを利用した外国人ドライブ観光を更に促進するとともに、地方部へ誘導するため、観光施設等の特典をまとめたパスの創設を検討する。
- 2018年のパスの本格導入をめざし、2か年の調査を行い、パスによる平準化効果等の検証を行うとともに、持続可能な運営体制を検討する。

埋もれている
地域資源の活用
空白期における
需要の創出

観光客を地方へ
誘導する仕組み
の構築



H28 (2016) 実施体制・スケジュール



(注意) 現時点で予算が確定したものではありません。記載内容に未調整のものが含まれており、今後の調整等により変更がある。